

「生命のがん教育」を実施しました

(令和2年度1学期分)

令和2年度1学期は3校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

◆授業形式

- (1) 医療従事者によるがんについての講義 (20分)
- (2) がん経験者のお話 (20分)

◆授業風景



(一燈園小学校)



(精華町立精華中学校)



(京都市立白河総合支援学校)

◎小学校 (1校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
7/9 (木)	一燈園小学校	6	洛和会音羽病院 副院長 酒見 英太

<児童の感想>

- ☆ 私は毎日規則正しい生活を送ることが「がん」に少しでもなりにくくなると思いました。野菜の好き嫌いをしない、大人になってたばこを吸わない、バランスのよい食事をとるなど、出来ることから行動していこうと思いました。大人になったら (とくに40才以上) 出来るだけ病院に行って予防接種などを定期的に行くようにしたいです。
- ☆ 私は授業で話を聞いて「がん」とはすごく身近な病気だと知りました。「がん」は「がん」にならないように気をつけてもなってしまうことも知りました。運動をして三食しっかり食べて夜更かししないことを伝えようと思います。

◎中学校 (1校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
7/27 (月)	精華町立精華中学校	2	山城南保健所 保健師 清水 香織

<生徒の感想>

- ☆ 授業を受けて、「がん」に対しての気持ちが変わった。前まで“がん”にかかったらほぼ死ぬと思っていたけど、早く見つかったり、免疫力を高めたりする事で“がん”が治ることがあるし、100%ではないけど、予防をすることができるからそういうのも覚えておきたいと思った。

- ☆ 体験を話している内でも「自分になるとは思わなかった」と言っていたのにとてなるほどと感動しました。なので、僕も他人事であると思わない事が大切だと思いました。周りの人が“がん”になってしまっても支えられるように、今回の話を生かしていきたいです。

◎高等学校（1校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
8/27（木）	京都市立白河総合支援学校	1	京都府立医科大学附属病院 呼吸器内科助教 岩破 将博

<生徒の感想>

- ☆ “がん”は、1～2年かけて大きくなるってことが分かりました。小さいうちに取るってことも分かりました。“がん”になる確率は2人中一人なのでその理由は生活習慣がよくないし、たばこお酒などを飲んでいるため“がん”になりやすいとわかりました。細胞が変わるにつれなりやすいので気をつけていきたいです。二人中一人かかるってことが一番驚きました。
- ☆ 今日の授業で“がん”は2人に1人はなることや、“がん”の方から聞いた話で、時間を大切にすることをこれから心がけようと思いました。

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL：075-414-4766 電子メール：kentai@pref.kyoto.lg.jp